

## 兵庫県産の植物図 (13) ブナ科Fagaceae (1)

矢内 正弘

### Masahiro YANAI : Illustrations of plants in Hyogo Prefecture (13) (Fagaceae)

兵庫県産の植物図 (12) クスノキ科に続けてブナ科 (1) の植物図を報告する。

#### ブナ科 Fagaceae

図1 クリ *Castanea crenata* Sieb, et Zucc. 果実：姫路市飾東町山崎 Oct. 9 2006 MY44422。花：飾磨郡夢前町，河原口 June 27 1989 MY4952。自生もするが栽培もされる。自生のは果実が小さい。花は6月頃咲く。雄花序がよく目立ち，強い臭いがする。雄花序が長さ7～13cmと長く (b)，雌花序はその基部につく (a)。雄花は無柄で，花被片6，微小な毛が見られる。10本の雄しべが花被よりも突き出る。花糸は無毛，長さ4mm。花の中央に微小な短毛のついた小片がある。雌しべの痕跡かもしれない。雌花序は2か3の雌花がくっついている。苞は少し皿状，たくさんの鱗片で包まれ，花被片は6，微毛がある。花柱は10本，下部には短毛が見られる (イ)。秋になると1～3個の果実ができる。それは高さ20mm程度。この図は雄花序がクリのいかにくいこみ雄花序がくっついている。

図2 シリブカガシ *Lithocarpus glabra* (Thunb. ex Murray) Nakai 揖保郡新宮市松尾神社 Oct. 13 2007 MY & K. Funasaka44909。県内では西播磨地方の照葉樹林に産する。葉はシイ類よりもやや大きく，秋に開花するので春5月に開花するシイ類と異なる。若い枝は黄褐色の短毛が密生 (ア)。雌花序は長く突き出る。雄花序はその下部に長さ7cm内外の花序が多数つく。雄花は長さ2mm，微小な三角形の苞が見られる。雄花は6枚の花被片の中央に長い白毛がつきその周囲に約10本の雄しべが並ぶ。花被片には微毛がつく。葯は桃色，花被片より少し突き出る。雌花序は長さ約10cmも高く伸びて2～5個の雌花が集まる。雌花は長さ2mm，その基部には微小な鱗片が多くつく。柱頭は3，無毛。果実は2年成，高さ15mm。

ツブラジイ *Castanopsis cuspidata* (Thunb. ex Murray) Schottky 花：揖保郡新宮市角亀 June 1 2003 MY & A. Matsunaga41688。果実：美方郡浜

坂町観音山産。若い果実：神戸市西区大山寺 Aug. 23 1993 MY18124。別名コジイ。クリの開花時と同様いやな臭いがする。播磨地方などに優占する常緑高木。雄花序は密生してたくさんつく。苞は花被片より短い。雄花の花被片6，腹面側には軟らかい短毛が多い。雄しべは10本，花被片よりもずっと突き出る。雌花序は雄花序の上に数個ついたり，特別に基部から全部雌花がつくこともある。間隔をあけてつくから雄花序に比べて目立たない。雌花は数個の鱗片があり，その鱗片には微小な毛がつく。柱頭は3個。果実は春に開花して翌年の秋に熟すから2年成。高さ10mm少しある。

スタジイ var. *sieboldii* (Makino) Nakai 果実：美方郡浜坂町観音山 前種よりも大きくて高さ17mm。この種も前種同様に2年成。

図3 マテバジイ *Lithocarpus edulis* (Makino) Nakai 姫路市四郷町 栽培 Sept. 11 2006 MY44357。姫路市大塩 June 25 2007 MY44755。元来，栽培されたものが逃げ出したものだろう。常緑高木。葉の表裏ともにやや光沢がある。6月頃開花する。雄花は新枝の先端につき長さ5～10cm。花被片は6裂し縁には軟毛が見られる。また内部にも綿毛が多い。雄しべは12本あり，花被片より突き出る。花糸は無毛。雌花序は雄花序と並んで立ち，長さ2cm前後ある。柱頭は3，花被片は4枚，縁には短毛が見られる。果実は2年成。即ち受粉後17ヶ月でドングリが完成する。それは高さ25mmあり長い。

図4 ウバメガシ *Quercus phillyraeoides* A. Gray 揖保郡揖保川町 JR 龍野駅付近 April 30 1994 MY19374。多紀郡今田町西光寺山 Oct. 27 1996 MY25098。庭木としてもよく栽培される。雄花序は新枝に集まってぶら下がる。長さ4～7cm。花被片は帽子状で切れ込む，雄しべは5～7個。雌花は新枝の先端部，葉脇に2個つき長さ2mm。Aは受精後1年経過。ドングリは2年後にできる。果実は高さ10～20mm，へそは小さく径3mm。殻とはほぼ径1cm。

アラカシ *Quercus glauca* Thunb. ex Murray 花：神戸市北区神鉄有馬線 有馬口駅-水無滝 April 30 2004 MY42710。果実：相生市三濃山 Oct. 9 1990 MY9526。カシ類では県内で最も普通の常緑高木。雄花序は新枝基部にぶら下がり，長さ3～5cm。おわん

状の鱗片下に2～3個の雄花がつく。それは花被が切れ込み、短毛が多い。5本の雄しべが見られる。雌花序は新枝の先端に数個つく。柱頭は3か4個。コップ状の花被に包まれる。若い果実は6月末のもの(A)。秋に高さ10mmの果実ができる。その年の秋にできる1年成。

図5 ミズナラ *Quercus crispula* Blume 花：養父郡関宮町ハチ高原 May 16 1999 MY & H. Ono30834。果実：城崎郡日高町水口 Sept. 25 2003 MY & H. Inoue42377。やや深山性。花序は新葉が出ると同時につき始める。托葉は長さ1～2cmで茶色、軟らかい長毛が多くつく。雄花序は新枝の基部に長さ5～10cm、垂れ下がる。曲がりくねった軸に多数の雄花が並ぶ。花被片は5片に裂けて、長毛がたくさんつく。中央に退化した雌しべが見られる。雄しべは10本。雌花序は新枝の先端に数個つく。大きさは長さ1～2mm。数枚の苞に包まれ、柱頭は3に分かれる。A図の若い果実は8月のもの。果実は1年成、高さ20mm、細長い。

コナラ *Quercus serrata* Thunb. ex Murray 花：加西市法華山一乗寺 May 3 1994 MY19192。果実：美方郡美方町野間谷 Sept. 26 2001 MY & H. Ono39426。里山などでも見られる普通の落葉樹。細い枝は灰褐色、若い枝は微毛が見られる。新葉は普通垂れ下がり新葉が出る時期に花序をつける。雄花序は前者同様、新枝の基部に垂れ下がる。長さ5～10cm。雄花は柄がなく花被片は深く切れ込み、裂片は5あり、長い軟毛が目立つ。雄しべは5か6本。雌花は新枝の先端につき長さ2mm程度。若い果実A：7月の様子。秋の果実は1年成、細長く20mm程度になる。

図6 ナラガシワ *Quercus aliena* Blume 花：赤穂郡上郡町光都 April 30 2006 MY & A. Matsunaga 43991。果実：揖保郡新宮町栗栖川沿い Sept. 18 1994 MY22214。県内では里山などそう海拔が高くない場所に普通に生育する落葉樹。托葉は早落性、長さ約1cmで長毛が見られる。成葉の葉柄は長さ2～3cmと長い。この点ミズナラはより短い。葉の裏面は白い星状毛が多数見られる。雄花序は新枝の基部にぶら下がるようにして多数つく。この新枝は無毛。雄花の花被片は数個に深く切れ込み、縁には長毛がある。雄しべは6～9個。雌花は新枝の頂上に1～3個つく。長さ1～2mm。微小な鱗片で包まれる。果実はその年の秋に熟し、ドングリとなる1年成。その表面には微小な白色の毛が見られる(A)。高さ15～20mm程度。

クヌギ *Quercus acutissima* Carruth. 花：神戸市東灘区御影山手 March 29 2010 MY45226。果実：姫路市飾東町山崎 Sept. 13 2009 MY45195。県内では北緯35°以南に生育する落葉樹。アベマキに似るが、(アベマキは樹皮がコルク質で表面がごつごつする上、

葉の裏面に短毛が見られる。)花序や果実はほとんど同じ。筆者は花序での両者の識別はできない。新葉とともに花序が出る。雄花序は数本、ぶら下がる。その長さ10cm内外。花被片は多くは4裂、4個の雄しべが花被片より外に出る。花糸は無毛、花軸はちじれた長毛が目立つ。雌花は新枝につき、新葉の基部につく、長さ2mm、3柱頭、柱頭はうす黄色、子房は赤色の微小な鱗片で包まれる。花被片は数個、長さ1.5～2.5mm、うす赤色、微毛が見られる。A図：受精後1年の若い果実。果実は2年成、高さ20mm。

#### 備考

福岡誠行・黒崎史平・高橋晃編. 2000. 兵庫県産維管束植物, 2: 91～95.

矢内正弘. 2010. 兵庫県産の植物図(12)クスノキ科. 兵庫生物, 14(1): 1～12.





図1 ク リ





図2 シリブカガシ、ツブラジイ、スダジイ



図3 マテバジイ





図4 ウバメガシ、アラカシ



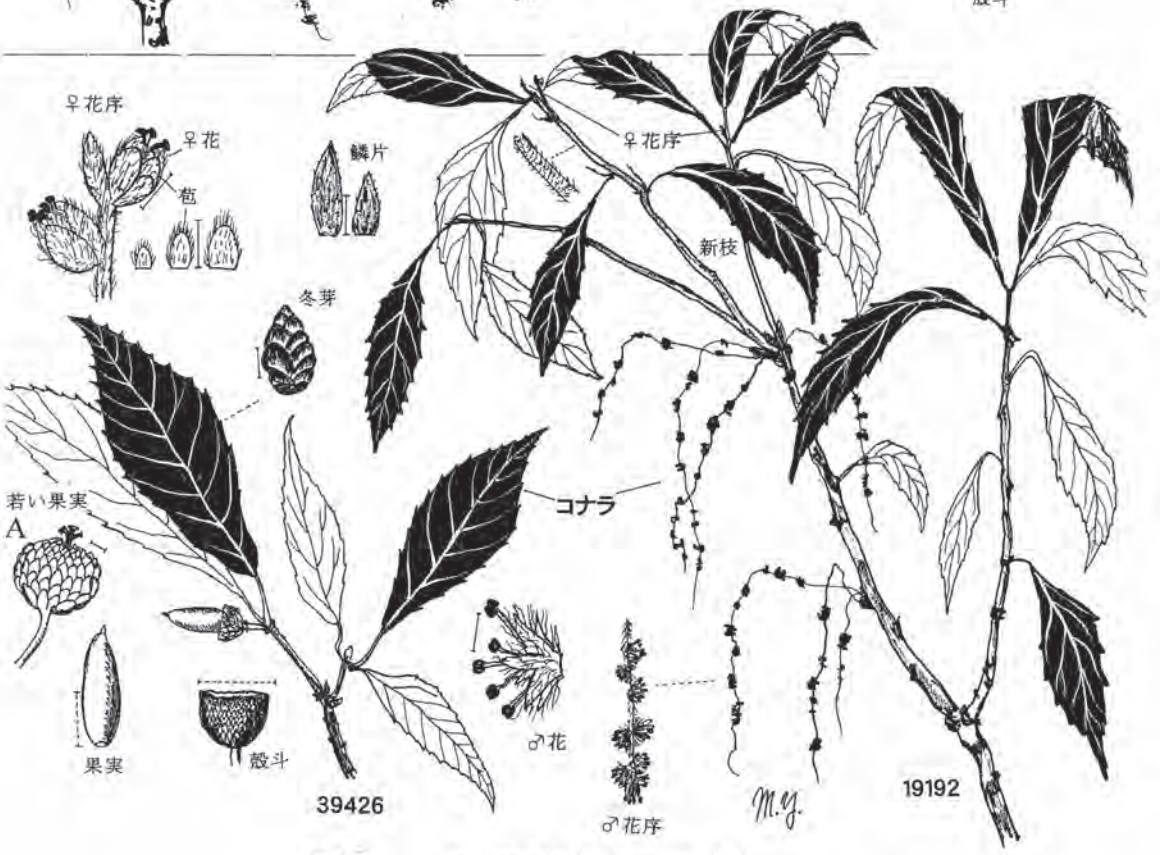


図5 ミズナラ、コナラ



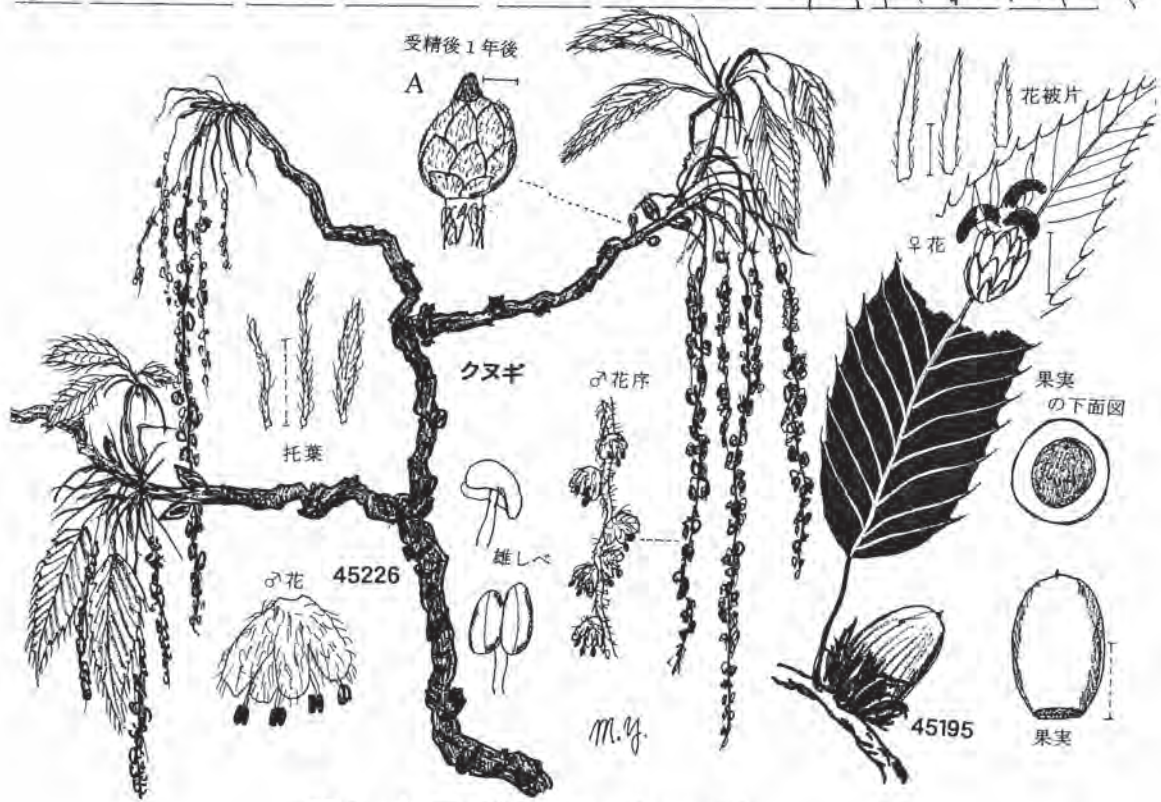
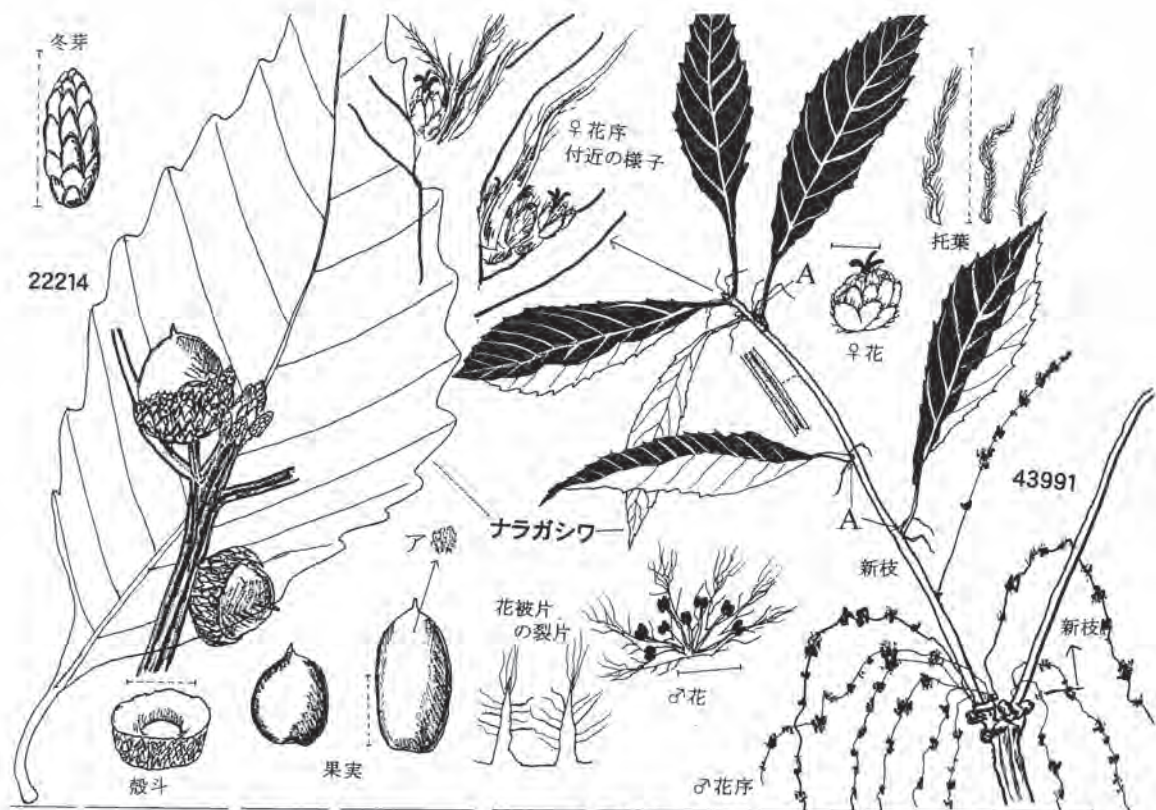


図6 ナラガシワ クヌギ